

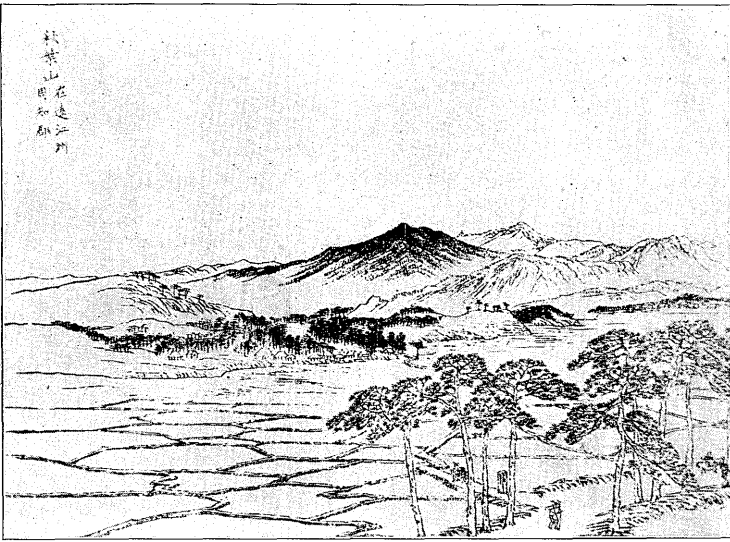
ニ於テオヤデアル、コレ恐ラクハコノ書空シク高閣ニ束ネラレテソノ存在スラモ彼等ニ忘レラレシニ至レル爲カ、此處ニ於テ我ガ日本嶋帝國ノ現狀トハ異ツテ書籍蒐集並ニ其參照ノ便宜ニ於テ事缺クナキ歐米ノ學者モ案外文獻ノ涉獵ガ粗漏デアルコトニ驚カザルヲ得ナイ、從テ我々日本人學徒ハ今後 THUNBERG, Flora Japonica. ヲ中心トシテ日本植物ノ文獻史ヲモウ一度ソノ史的事實ノ上カラ再吟味スベキデハナカロウカ、例ヘシ MurRAY, Systema Vegetabilium + THUNBERG, Flora Japonica. トハ果シテ何レガ先キニ世ニ出デタ乎コノ一疑問ニ對シテサヘ何人モ即座ニ正確ナル出版月日ヲ回答シテ以テ此ノ問題ヲ解決シ得マイ、筆者ノ如キハ勿論コノ間ノ消息ニ就テハ今茲ニハ何等知ルトコロガナイ

【牧野富太郎曰フ】和蘭版ノホッタイン HOUTTUYN 氏ノ著 Natuurlyke Historie ノ書ハ三十冊程モアツテ書中ニ動植鑛ノ三界ヲ含ンデ居ル、此書ハ徳川末葉時代ノ嘉永年間頃ニ幾部カ我邦ニ輸入セラレ其レガ今何レカノ家藏トナツテ尙遺ツテ居ルト思フガ餘リ吾人ノ眼ニハ觸レナイ、我邦產植物ノ名稱ヲ考定スル爲ニ明治三十四年頃以降私ハ此書ヲ使用シテ學名ノ改正ヲ行フタ、即チ其レガ飯沼慾齋以後日本ニ於テ本書第二ノ使用デアル、例ヘシ Lactuca lacinata (HOUTTUYN) MAKINO. (あわののび) Lactuca lanceolata (HOUTTUYN) MAKINO. (ほととぎす) 等ノ學名改訂ガ其レデアル、又いたどりノ一學名、其レハ泰西ノ學者カラ全然忘レラレテ居タ最舊ノ名ヲ私ハ始メテ此書中カラ鉤出シテ Reynoutia japonica HOUTT. ノ名ヲ世ニ出シ其レニ基イテ Polygonum Reynoutia MAKINO. ナル新學名ヲ制定シテ見タ(明治三十四年發行『植物學雜誌』第十五卷、歐文第八十四頁)此書ハ我日本ノ植物ヲ研究スル人々ニハ實ニ貴重ナル參考文獻ノ一デアツテ私モ其レヲ秘藏シテ居ルガ其レハ曩ニ田中芳男先生カラ惠與セラレタモノデ原ト駿府ノ學校ニ在ッタモノラシイ

○遠州秋葉山及ビ其附近ノ植物

久 内 清 孝

遠州秋葉山及び其ノ附近ノ植物



山秋葉キシノ畵ノ晁文谷



ながはかきのはぐね (花)

(薔軒撮影)

遠州秋葉山ハ同國周知郡内ノ名刹ニシテ古來信仰家ノ參スルモノ
ノ渺カラザルモ緒鞭ノ徒ニテ此處ヲ訪フモノ甚鮮ク其「フロラ」
ノ如キモ明確ニ世ニ傳ハラズ、由テ余ハ昨年七月薔軒先生ノ地
衣採集行ニ從ヒ始メテ同山ノ「フロラ」ニ接スルヲ得タリ、余等

ながはかきのはぐね (Polysala Reimii Fr. et Sav. var. angustifolia)



ながばかきのはぐさ(實)

(Polygala Reinii FR. ET SAV. var. angustifolia MAK.)

(蕾 軒 撮 影)

ノ行程ハ濱松ヨリ北上シテ二俣ヲ經テ大
居ニ出デ秋葉神社ニ一泊シテ翌日雲名ニ
出デ河舟ヲ艤シテ鹿島ニ上陸セルモノナ
リ此間逢著セシ植物中分布上多少興味ア
ルモノハ同山下ニ於テハさいこくべにし
だガ領家附近ニ、もちつゝ、ジガ犬居氣田
川畔ニ産スルコト是レナリ

秋葉山ハ山容峻險ナラザルモ草木繚條タ
ル山ニシテ種類相當ニ多クかなぐぎの
き、いぬがし、こしあぶら、いものき、
いちねがし等ノ樹木ノ外ながばかきのは
ぐさ、はしりどころ、さはぎく、くるま
ばはぐま、なべわり、ゑんしゅうはぐま
等ノ草本ヲ見ル、就中ゑんしゅうはぐま

ハ中腹以上ニ於テ最モ多クサシモノ珍草モ此處ニテハ全ク路傍ノ雜草ニ過ギズ(コノ草伊豆國天城山八丁池畔
ニモ産スルコトハ澤田武太郎氏ノ報ズル所ナリ)サレバ中秋其莖上紅色ノ冠毛ノ開展シタルトキハ其美觀驚ク
ベキモノアラン

更ニ興味アル事實ハ同山ノ西南麓ニはいくやあまぢやノ自生スルコト是レナリ

雲名ヨリ鹿島ニ至ル天龍川ノ兩岸ニハおにぜんまい、さつき甚ダ多ク數里ヲ航下スルニ全ク應接ニ暇マナシ若

つるぎきやうガ武州高尾山ニアル



くるまばはぐま (*Pertya rigidula* MAK.) ノ群落
(菅 軒 撮 影)

シ夫レ柳類ニ至リテハ殆ンド全水邊ヲ領シ
テ最モ榮ユルヲ見タリ
尙此行渥美藥劑師ノ好意ニヨリ濱松市内公
園ニ數株ノみゝずばいの産スルヲ確メ得タ
リ此品ハはひのき科ノ常綠樹デ我邦ノ暖地
ニ多キモノナリ

○つるぎきやうガ武州

高尾山ニアル

木村 康 一

ささやう科ノ奇草つるぎきやう (*Campa-numoea javanica* Blume var. *japonica* MAKINO. = *C. japonica* MAXIM. in Mel. Biol. vol. VI. p. 268.) ノ產地トシテハ從來關東地方ノ舉ゲラレタノヲ聞カナイ『植物總覽』ニハタゞ本州(中南部)、四國、九州トノミアリテ關東地方ニ言及シテ居ナイノハ從來此方面ニ見出サレテ居ナカッタコトヲ立證スルニ足ルト思フ
然ルニ余ハ昨年十月二日之ヲ例ノ武州高尾山デ得タ蓋シ同山中尙各處ニ産スルノデアラウ、其形態ハ此處ニ掲ゲタ明治二十一年十一月十二日發行ノ牧野先生著『日本植物志圖篇』一ノ一ノ圖ノ通りデ余ノ採集シタ頃ハ其花期デアッタカラ開花期ノ甚ダ遅イ植物デアル、花ノ色ハつるにんじん、ばーそぶナドトヨク似テ居ルガ花型